

四谷の

千枚田だより



第 53 号

はつ光 田ごことに想らし 霜どかし
この一年の ことの始まり

四谷 柳二

連谷地区新年祝賀会

正月五日、午後五時から市公民館連谷分館・コミニティ委員会主催の新年祝賀会が連谷会館で催されました。

開催趣旨：平成二十年の新しい年を迎え、連谷の住民が一同に会し、新年の寿ぎを祝し、一献を傾けながら地域の課題や将来の展望を語り合うのは大変意義深いものである。今年も穂積亮次新城市長様、加藤、森両市議会議員様にご来賓いただき、お言葉を頂戴、大いに語り合う。このような嬉しい新年祝賀会を契機に、明るく大きな展望の持てる連谷地区、地域の将来を目指したい。

幸いにも我が地域には、本日参加していただいた皆様お一人おひとりが大変素晴らしい人材であるとともに、地域には「四谷の千枚田」を始め全国に誇れる資源も多く有し、更なる確かな飛躍と発展を誓い合う絶好の宴となることを祈念する。

年頭祝辞

新城市長 穂積亮次様

新年おめでとうございます。穂積でございます。森、加藤両議員もおみえでいらつしやいます。毎年のように、この、連谷地区の新年祝賀会にお招きいただいて本当にありがとうございます。寄せていただいたのが、これで四回目となります。いつも、四谷の千枚田を始めこの地域を守るために皆さん本当に心から力いっぱいのお力を頂いていることを市を代表して感謝をしている次第です。

昨年は栃木県茂木町でサミットが行われました。本日此処にお集まりの皆さん中でもかなり大勢、おいでいただきました。

年々、サミットも盛んになってまいりましたし、サミットがきっかけとなって全国的にいろいろな棚田を守る運動も起こってまいりました。この中で四谷の千枚田は特に多くの皆さんに愛されていらつしやいますし、また私ども、鳳来町最後

の年にやったあの棚田サミットが一つのまた新しいサミットの在り方を提起できたのではないかなあと、皆さんの力に本当に感謝を申しあげております。

当地区で行われたサミットでは地域の皆さんのお力が遺憾なく発揮されたことは勿論のこと、連谷小学校の子供達の千枚田への取り組みや先輩の中学生達の活躍が大変話題となり、これらが端を発したのか、最近のサミットでは地域を交えた子供達もたくさん出るようになりましたし、昨年の茂木町でも子供達が大勢活躍してくれました。

また、昨年はこの四谷の千枚田を中心にしていろいろな企業の皆さんも社会貢献活動という事で参加していただいて、また、地域の皆さんには本当にお力添えいただいたかと思えます。

今年是比较的穏やかな正月でありましたけれども、少し、雪がチラホラしました。この地域はいかがでし

たでしょうか。

一方、本年は新城市に合併して三年目に入りまして、いわゆる、総合計画というものが、この新年度、四月から新しく始まってまいります。文字通り新城市・奥三河の中核の町として「山の湊」として栄えていこうと、これからのいよいよ新しい町を創って行くんだと、頑張つて、新しいスタートの年であります。

この中で、この四谷の千枚田を含め、地域を一層盛り立てて頂いて、素晴らしい町づくりにお互いにより知恵をだしあつて築くよう、応援して頂ければ幸いです。

今日は皆様と膝を交えて歓談できる機会を頂いたことを重ねて感謝いたします。

聞き書き（舜）



新城設楽地域行政懇談会

十二月十七日、県新城設楽総合庁舎において「山村地域の振興について」をテーマに新城市、北設楽郡の各市町村代表十名が県行政に対し日頃感じていること、新たに実施してほしいことなど、発言し、管内関係地方機関の課長、所長さんからそれぞれ回答をいただくなど、県政に積極的に反映すべく、膝を合わせた懇談会が行われました。

発言趣旨(概略) 〓氏名敬称略〓

①新城市 大谷至弘

奥三河では高齢化が進み農地放棄地が急激に増え、崩壊限界な集落も近い将来発生する。農業と林業からの所得で暮らせる山村を取り戻し、Uターンでも家族が養える所得制度の確立を望む。

②新城市 小山舜二

連谷地区は「四谷の千枚田」を柱に地域ぐるみの活動が認められ、農水省の「むらづくり」、また県を始めとした景観、環境等で数々の栄誉をいただき、それを糧に小さい村ながらすこぶる元気がいい。この歴史的景観を持つ四谷の千枚田を未来永劫継承する手だてとして文化財「文化的景観」の指定を受けるべき、地域住民、行政共々前向きに進むことが地域振興の要と思いい発言趣旨とする。

③新城市 濱本義則

・ 交番の統廃合は中学校単位で一交番と聞かす。・ (回答) 交番は一つであるが、駐在所は置く。・ 国、県道の草刈りを地元で行えば補助をしてくれるのか。

④新城市 森野頼之

・ 奥三河地域の道路網の整備について。・ (回答) 八束穂等の現況説明。・ 森林環境税の山村地域への導入について。・ (回答) 平成二十一年度から森林環境税が新たにスタートする。

⑤設楽町 小川信二

県の行う行事や会議を山村地域で行い、人の流れを誘導し、活性化につなげたら。

⑥設楽町 高橋はるみ

設楽町はダムと少子化の二つの問題をかかえている。その他の問題は、すべてこの問題の前になすべきもなく前進をはばまれていない。かつても過言ではない。かなしい。

⑦東栄町 伊藤俊弼

山間地の農業はもはや農家では維持できない。NPOを立ち上げ遊休農地対策に取り組んでいる。支援策は。・

⑧東栄町 丸山恭子

林業を生業とする家に嫁いたが、林業の衰退で林業では生活できないというあきらめに似た危機感が

地方全体に満ちている。対策を。・

⑨豊根村 寺沢文字

・ 地上デジタル放送について。・ 機材購入に高齢者世帯は一部補助などの措置はできないか。

・ 有償ボランティア輸送を行っている。道路運送法の改正でボランティア運転手の資格要件等が厳しくなり更新手続きに苦慮している。この事業が継続できるように願う。

⑩豊根村 村松久

・ 茶臼山ロッジ閉鎖と聞かす。・ (回答) 利用者減で閉鎖。・ 「限界集落」「秘境集落」を抱えているが、今後、集落合併・集団移転等崩壊集落に対する県の見解は。・ 「空き家対策」等々

○ 県新城設楽事務所は新年度から組織改編し、新城設楽山村振興事務所として生活基盤の弱い三河山村の振興に焦点を当てた行政機関として活動する。



記念酒は千枚田で小山泰弘が丹精込めて栽培した幻の米「ミネアサヒ」の純米吟醸です。



取材

十二月十八日、交通新聞社「旅の手帳」の中村直美編集長が奥三河の観光地等の取材に県観光協会杉戸専務理事、県観光コンベンション課、県地域振興部、市観光課の担当者と共に千枚田を訪れ、景観、歴史、文化等の取材対応を(舜)が行いました。

千年の杜

地元企業「横浜ゴム新城工場」は、環境保全への取り組みとして「千年の杜」計画を2007年よりキックオフ。CO₂の削減を計るためドングリを植栽、その被覆材に環境に優しく作られた千枚田のワラが使われております。

地球環境国際賞「ブループラネット賞」を受賞され、全世界で三千万本の植樹を指導した宮脇昭教授の「産業・経済の発展をささえるいのちの森づくり」の講演が一月十二日、横浜ゴム新城工場であり、保存会から五名が聴講しました。

行 平成二十年一月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二